



アンサンブル ^ア^ボ ABO

今回のまちの主演は、下関市を拠点に活動し、令和2年度に「県民活動きらめき賞」を受賞したミニオーケストラ「アンサンブル ABO」を紹介します。

亡き発起人の
志と共に
活動し続けて

ABO結成

「アンサンブル ABO」は平成15年4月に結成され、福祉施設や病院、学校などで弦楽器によるクラシック音楽の演奏や観客との交流を続けています。現在、9人のメンバーが所属し、月に2・3回、安岡教会で練習しています。

設立当初は3人だった ABO。設立当初からのメンバーである百合野代表に話を伺いました。

「ABOを語る上で欠かせないのが、お亡くなりになられた坂田哲夫先生の存在で



▲過去の演奏の様子。演奏を聴いてくださる方がいると喜びが倍に。

す。先生は、下関の高校で音楽の指導にまい進されました。定年退職後、先生に声を掛けていただき、音楽教員OBの3人で弦楽トリオを結成したのが ABO の始まりです。 ABO という名前も、設立当初のメンバーの血液型から先生が名付けました。その後、先生を中心としたご縁でメンバーが増えていきました」

ABO は、結成当初から安岡病院の緩和ケア病棟で月1回のコンサートを続けてきました。

「皆さまに聴いていただけていることが本当にうれしいです。『ブラボー』と言っていただけだった時のことを鮮明に覚えていません。現在は、コロナ禍で開催できていませんが、できる限り続けていきたいです」

また、 ABO は、下関市社会福祉協議会にボランティア登録し、活動の場を広げてき





まちかどボイス

今月のテーマ
挑戦したい楽器



◀日頃から信頼作りを大切にし、メンバー同士、活発に意見を出し合います。



▶「チームワークが良くて、練習に来るのが楽しみです」と百合野代表。

ました。
「坂田先生の行動力に引張られ、福祉施設や学校などでコンサートを開催するようになりました。先生からボランティア活動を教わりました」

悲しみを乗り越えて
今年で結成19年目を迎えたA B O。令和2年度には、長年の活動が評価され「県民活動きらめき賞」を受賞しました。「長く続けていると、うれしいこと、悲しいこと、さまざまなことがあります。演奏後、小学生が話しかけて来てくれたときは、音楽の魅力が伝わっている感じがして、うれしかったです。楽曲に対

する各メンバーの考え方の違いなどから解散の危機に陥ったり、坂田先生がお亡くなりになりました。悲しい出来事もありました。それだけに、この賞は感無量です。これからも長く演奏できるように頑張ろうと思えました」

今後の課題にメンバーの高齢化があります。

「音楽好きで、アンサンブルを楽しんで、ボランティア活動に積極的に向かうメンバーが集まっています。同じ志を持たれた方と一緒に活動できるとうれしいですね」
活動への問い合わせは、百合野代表(☎252-6059)まで。

編集後記

- 花農家さんが激減していたのは衝撃でした。花を買うことでしか応援できませんが、これからも良い花を作っていただきたいです。(ひ)
- リフレッシュパーク豊浦に新登場した樹齢約100年のオリーブの木。新たなインスタスポットになりそうです。(き)
- 長く続けられる趣味を持てたらいいなと思います。「下関三海の極味」の新商品をきっかけに料理が趣味になるかもしれません。(と)